

安全・安心な医療を受けるために

患者さん・ご家族の皆様 ぜひ、医療にご参加ください！！

医師・看護師等の説明でわかりにくいことがありましたら、

遠慮なさらず質問して、ご自分の医療内容をご確認下さい。

当院は、医療を行う際、患者さんにご家族にわかりやすく説明し、ご理解と同意をいただいた上で治療・検査を進めることを大切にしています。

相互理解のための
コミュニケーションスキル研修会
(講師:国立がんセンター國頭先生)



*** 職員安全管理研修の開催 ***

病院職員からの説明が、一方的にならないよう、患者さんが質問やご自分の考えを職員に伝えやすいよう「患者さんとのコミュニケーション」について研修を行っています。

医療を行う際、ご本人確認と医療行為の確認にご参加・協力下さい

当院では、患者間違いをゼロにするため注射や検査などを行う際、本人確認の後に

ご本人と、注射や検査の指示が、一致しているか照合しています。

- ① 患者さん（ご家族）に氏名や誕生日を言っていただきます。
- ② 職員が復唱した内容に、間違いがないことをご確認下さい。
- ③ 職員は、指示票をみながら声出し指差し確認をしますので、
一緒にご確認をお願いいたします。

* 電子カルテの導入により、1月4日から、注射・検査時等一部バーコードによる認証システムも導入されます。



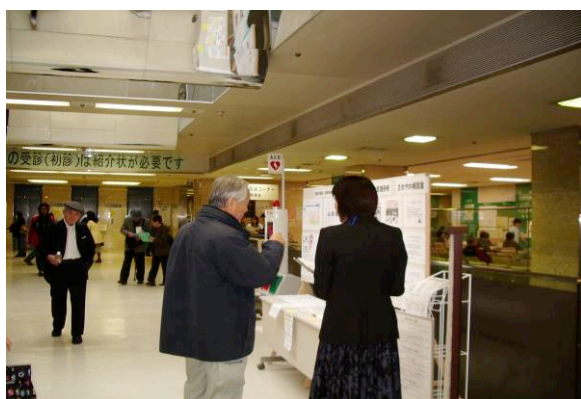
平成19年度 医療安全推進週間（期間：11月20日～27日）

当院の医療安全推進週間の取り組みとして、今年はじめて、外来ホールでパネル展示等を行いました。当院の医療安全の取組状況を、患者さん・ご家族にご紹介させていただきました。

* 医療安全推進週間は、厚生労働省が平成13年から医療安全に対する医療者の意識の向上や、患者・国民の医療への主体的な参加を促すために行っています。

「転倒・転落防止対策」「安全管理研修会」

「さわやか相談室」などの展示



MR I 検査・化学療法の安全管理の実際



* ご覧いただいた患者さんの主な感想です *

- ・ 情報公開することは良いこと。良いことは続けて欲しい。
- ・ 様々な患者さんがいるから、このように決めても絵に書いた餅になるのではないかな。
- ・ 医療安全のことはよくわからないけれど、患者も主体的に取り組むのですね。
- ・ 化学療法の治療をしているが、薬をこのように準備していることをはじめて知った。
- ・ MR I 検査を先日受け、このような安全対策がとられていたことをはじめて知った。
- ・ 病院にお任せしていることが多い。患者自身がつともしっかりして、自分で守らなければ！

約100名の方にご意見を伺い、ご協力頂きました。誠にありがとうございました。

職員全員で安心安全な医療の確保に努めております。

患者さん・ご家族の方々も間違い防止のために

ご理解とご協力をお願いいたします。



作成：横浜市立市民病院 医療安全管理室

横浜市立市民病院ホームページアドレス <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/s-byouin/index.html>

ホームページでは、過去の「こうほう（現 健康ひろば）」もご覧いただけます。